



# 平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート  
 コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石川光久  
 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	1,254	△29.4	101	—	83	—	16	—
28年5月期第1四半期	1,776	11.2	△6	—	△17	—	△41	—

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 14百万円 (—%) 28年5月期第1四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	3.43	—
28年5月期第1四半期	△8.82	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	8,183		4,585		55.0	
28年5月期	7,873		4,513		57.3	

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 4,501百万円 28年5月期 4,513百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年5月期	—				
29年5月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,290	△9.0	361	△13.4	369	△8.5	231	36.2	48.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) CYBORG009 CALL OF JUSTICE製作委員会、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期1Q	5,055,400 株	28年5月期	5,055,400 株
29年5月期1Q	320,400 株	28年5月期	320,400 株
29年5月期1Q	4,735,000 株	28年5月期1Q	4,735,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、全体として緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国等の景気減速や、円高による企業業績の悪影響が懸念され株価は低迷し、個人消費にも停滞感がある等、先行き不透明感が高まっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る版權事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,254,387千円(前年同期比29.4%減)、経常利益は83,699千円(前年同期は17,615千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,230千円(前年同期は41,739千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「甲鉄城のカバネリ」「フューチャーカード バディファイトDDD」「ジョーカーゲーム」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

作品をヒットさせるため、受注を絞りクオリティを重視したことで制作コストが増えました。

以上により、当事業の売上高は461,806千円(前年同期比63.8%減)、セグメント損失は85,532千円(前年同期は26,327千円のセグメント損失)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「あまんちゅ! 10巻」「もののけ古書店怪奇譚 2巻」の新刊、小説「甲鉄城のカバネリ 上・下巻」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍27点を刊行しました。

また、既刊の「あまんちゅ!」「にがくてあまい」シリーズは、特に販売好調でありました。

以上により、当事業の売上高は449,625千円(前年同期比187.1%増)、セグメント利益は120,028千円(前年同期は30,626千円のセグメント損失)となりました。

#### ③ 版權事業

版權事業におきましては、「進撃の巨人」「ハイキュー!! シリーズ」「エヴァンゲリオン」「蒼穹のファフナー シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は274,128千円(前年同期比3.4%増)、映像マスターの減価償却費が減ったことにより、セグメント利益は103,657千円(前年同期比82.6%増)となりました。

#### ④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、スマートフォン向けアプリ等により当事業の売上高は68,827千円(前年同期比15.3%減)、スマートフォン向けアプリの開発費が増えた為、セグメント損失は9,383千円(前年同期は10,837千円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ310,347千円増加し8,183,923千円となりました。主な要因は仕掛品が318,241千円、前渡金が67,500千円増加し、一方、現金及び預金が263,843千円、受取手形及び売掛金が77,333千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ238,373千円増加し3,598,721千円となりました。主な要因は前受金が302,746千円、預り金が129,606千円、未払金が68,726千円増加し、一方、買掛金が159,965千円、未払法人税等が74,102千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ71,973千円増加し4,585,202千円となりました。主な要因は非支配株主持分が83,800千円増加し、一方、四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が11,676千円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の業績予想につきましては、平成28年7月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

#### ① 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、平成28年7月に新たに出資した「CYBORG009 CALL OF JUSTICE」製作委員会を連結の範囲に含めております。

#### ② 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、「宇宙戦艦ヤマト2199」「宇宙戦艦ヤマト2199星巡る方舟」「百日紅」の製作委員会3社は、四半期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。また、「あまんちゅ!」製作委員会は重要性が増したため持分法の適用範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,447,880	3,184,036
受取手形及び売掛金	1,285,426	1,208,093
商品及び製品	143,305	166,646
仕掛品	665,154	983,395
貯蔵品	10,613	9,705
前渡金	140,400	207,900
繰延税金資産	49,758	53,137
その他	74,650	151,089
貸倒引当金	△5,400	△7,337
流動資産合計	5,811,789	5,956,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	622,373	615,689
土地	826,684	826,684
映像マスター(純額)	195,101	202,257
その他(純額)	33,689	30,415
有形固定資産合計	1,677,849	1,675,046
無形固定資産		
のれん	25,962	21,635
その他	48,820	150,626
無形固定資産合計	74,782	172,261
投資その他の資産		
投資有価証券	111,996	111,996
その他	262,024	332,818
貸倒引当金	△64,866	△64,866
投資その他の資産合計	309,154	379,947
固定資産合計	2,061,786	2,227,255
資産合計	7,873,575	8,183,923

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	654,193	494,227
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	168,593	237,320
未払法人税等	138,895	64,793
前受金	950,745	1,253,491
預り金	500,534	630,140
賞与引当金	—	25,527
役員賞与引当金	21,956	1,045
株式給付引当金	—	66,120
返品調整引当金	56,463	69,063
受注損失引当金	14,075	50,822
その他	212,702	161,260
流動負債合計	2,858,154	3,193,808
固定負債		
長期借入金	299,196	289,197
株式給付引当金	66,816	—
退職給付に係る負債	49,006	46,410
役員退職慰労引当金	47,881	36,177
その他	39,292	33,127
固定負債合計	502,192	404,912
負債合計	3,360,347	3,598,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,219,281	2,207,605
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,502,580	4,490,904
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,648	10,498
その他の包括利益累計額合計	10,648	10,498
非支配株主持分	—	83,800
純資産合計	4,513,228	4,585,202
負債純資産合計	7,873,575	8,183,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
売上高	1,776,830	1,254,387
売上原価	1,601,850	913,312
売上総利益	174,980	341,075
返品調整引当金繰入額	—	12,600
返品調整引当金戻入額	13,100	—
差引売上総利益	188,080	328,475
販売費及び一般管理費	194,437	226,977
営業利益又は営業損失(△)	△6,357	101,497
営業外収益		
受取利息	232	257
受取賃貸料	11,582	9,581
その他	1,925	634
営業外収益合計	13,740	10,472
営業外費用		
支払利息	1,019	740
為替差損	15,517	21,570
賃貸収入原価	8,255	5,786
その他	205	174
営業外費用合計	24,998	28,270
経常利益又は経常損失(△)	△17,615	83,699
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△17,615	83,699
法人税、住民税及び事業税	22,615	64,678
法人税等調整額	1,508	3,990
法人税等合計	24,124	68,669
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,739	15,030
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,200
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△41,739	16,230

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,739	15,030
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,935	△149
その他の包括利益合計	13,935	△149
四半期包括利益	△27,803	14,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,803	16,080
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,273,964	156,628	265,017	1,695,610	81,219	1,776,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,273,964	156,628	265,017	1,695,610	81,219	1,776,830
セグメント利益又は損失 (△)	△26,327	△30,626	56,778	△174	10,837	10,662

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△174
「その他」の区分の利益	10,837
のれんの償却額	△4,327
全社費用(注)	△12,692
四半期連結損益計算書の営業損失	△6,357

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	461,806	449,625	274,128	1,185,560	68,827	1,254,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	461,806	449,625	274,128	1,185,560	68,827	1,254,387
セグメント利益又は損失(△)	△85,532	120,028	103,657	138,154	△9,383	128,770

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	138,154
「その他」の区分の利益	△9,383
のれんの償却額	△4,327
全社費用(注)	△22,946
四半期連結損益計算書の営業利益	101,497

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。